



たのしい白岩小

郡山市立白岩小学校だより

令和6年度 第11号
令和6年12月23日(月)
文責：校長 佐藤 一彦



かつラッキー

「表現する子ども」「挑戦する子ども」をめざし、活動します！



児童のがんばりを表彰しました！12/13

- ・芳賀東部地区「少年の主張」大会 最優秀賞 6年
- ・小学生の税に関する習字展 佳作 6年
- ・ " 標語 郡山法人会青年部会長賞 6年
- ・J A 共済福島県小中学生書道コンクール 奨励賞 1年
- ・ " 交通安全ポスターコンクール 奨励賞 4年
- ・智恵子のふるさと小学生紙絵コンクール 金賞 6年
銅賞 6年
- ・安全ポスターおよび作文展

ポスターの部	優秀	1年	2年
		3年	4年
		5年	6年
作文の部	優秀	1年	2年
		3年	4年
		5年	
- ・校内多読賞

ページ数の部	7068ページ	代表	4年
冊数の部	50冊	代表	2年



クリスマスツリーをいただきました！12/4



地域の方から子どもたちのために高さ180cmの大きなクリスマスツリーを寄贈いただきました。今月の児童と一緒に飾りました！歌はクリスマスソング、玄関にキラキラのツリーや1年生の作ったリースが飾られ、子どもたちはウキウキです。



2学期、82日(5, 6年生81日)も大変お世話になりました！ ～終業式は2学期チャレンジしたことががんばったことを振り返った後に 以下の話を児童にしました～

白岩小のみなさんは、よく本を読みますね。毎月、学校司書の先生が、1ヶ月に白岩小の児童がどれくらい図書室を利用して本を読んだのか、報告してくれます。特に、11月は、1ヶ月に8冊以上本を読んだ人がほとんどで、白岩小の児童全員で566冊、一人あたり12～13冊読んだこととなります。素晴らしいですね。本を読むと3つのよいことがあります。

1つ目は集中力がつくことです。落ち着いて文章を読むことで何事にも集中して取り組む力がつきます。

2つ目は人の気持ちがわかる人になれることです。本に出てくる人の気持ちを想像しながら読むことで身の回りの人の気持ちも考えることができる人になります。

3つ目はお話が上手な人になれることです。本を読めば新しい言葉が出てきたり、新しい情報を得られたりします。それらを使いこなしていけば表現力が豊かでお話が上手な人になります。

2024年の漢字一文字は「金」でした。今年行われたパリオリンピックでの金メダルラッシュがその理由の一つでした。その中で男子体操団体、個人総合、鉄棒で金メダルを獲得した岡慎之助選手(21歳)。少年時代、自分の気持ちや考えを言葉にして表現することが苦手で、競技で失敗してもその理由を監督に上手く説明することができなかったそうです。

18歳の時、競技中に大けがをしたため、練習ができない時間を使って、本を読み、感想文を書くことを監督から勧められました。1週間に1冊のペースで合計20冊読み、感想文を書き続けたところ、練習に復帰後、演技の成功、失敗の理由など少しずつ説明ができるようになり、競技も上達し、金メダル獲得につながったそうです。このように本を読むことにはたくさんのよいことがあります。みなさんこれからも読書を続けて下さいね。

明日から15日間の冬休みがスタートです。校長先生との約束は2つです。1つ目は規則正しい生活です。特に、あいさつをしっかり行いましょう。冬休みは様々な行事があり、たくさんの人にも会うことでしょう。その時期に合わせたあいさつをしっかり行いましょう。特に、新年はあいさつの後に今年、自分ががんばることを付け加えて下さい。例えば、「今年、朝のあいさつを毎日元気に言います」、「今年、食べられなかった食べ物を1つでも多く減らします」などです。2つ目は、冬休みもたくさん本を読むことです。それぞれ、学校が休みの時も続けることで自身の力になります。

では、冬休みも安全・健康に十分気をつけ、1月8日に全員そろって元気にあいさつしましょうね。

～感染症も流行しています。保護者の皆様、地域のみなさまもお体にはくれぐれも注意してよいお年をお迎えください。～

